

教科名	国語	科目名	現代の国語	履修学年	中学・ 高校	1年	全組			
単位数	2	使用教科書 補助教材等	三省堂 『精選 現代の国語』							
担当者	栗原 緑 奥原 もな美		三省堂 『精選 現代の国語』 演習ノート							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 文章の意図を確実に理解することにより、様々な立場から世界を見て、自分の考えを持つことができる。 自分の思考を言葉にして、相手に伝えることができる。 1年次は特に論理的文章における主張を把握できることを目標とする。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢					
評価規準	主張と論拠など事柄同士の関係について理解することができる。言葉の意味を適切に理解し、自分の表現活動に活かすことができる。		「書くこと」：自分の考えが、状況に合わせて的確に伝わるように表現を工夫している。また表現することにより思索を深めている。 「読むこと」：内容や構成、論理の展開についての確にとらえ主張や主題・要点を理解することができる。		各単元において、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤できる。					
各観点の授業内 評価方法等	定期考査				①単元終了時の「研究課題」					
	平素の小テスト・課題・提出物等				②振り返りシート等を用いた自己調整のモニタリング					
	到達度確認テスト									
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。									
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%					
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2		
1	4	ガイダンス 『ぐうぜん、うたがう、読書のススメ』川上未映子 『塩トンの読書』須賀敦子 『水の東西』山崎正和				1	中間考査	研究課題①		
	5	中間考査				3				
	6	『言語は色眼鏡である』野本菊雄 『ネットが崩す公私の鏡』黒崎政男 『情報と身体』吉岡洋				3				
	7	期末考査				7	期末考査			
	8	『辞書は生きている』飯間浩明 夏期課題 “この一冊、を伝え合おう”				2				
	2	9	『アガルとノボル』柴田武 『「見える文化」/「見えない文化」』原沢伊都夫 『コインは円形か』佐藤信夫 ワールドカフェをやってみよう				2		中間考査	研究課題②
		10	中間考査				1			
11		『人がアンドロイドとして蘇る未来 アンドロイド 基本原則』谷島貴太 『人間にできて機械にできないこと』松田雄馬 『生物と無生物のあいだ』福岡伸一				3	期末考査			
		12	期末考査					10		
12		『命は誰のものなのか』柳澤桂子 冬課題 身近な日本文化を紹介しよう・情報社会について考える				4				
3	1	『自然をめぐる合意の設計』関礼子 実習 マイクロディベート 『対談「国際貢献」ではなく「国際協力」である』				3	実習課題			
	2	『グローバリゼーションの光と影』小熊英二 学年末考査				4				
	3	※単元・作品に応じて、+αの教材を用いて、演習を行う。 ※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。				2				

教科名	国語	科目名	言語文化	履修学年	中学・高校	1年	1～4	組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	言語文化(筑摩書房)						
担当者	松永 航平 山本 宏樹		古文単語315(桐原書店) ステップアップノート 30古典文法基礎ドリル(河合出版) 漢文必携(桐原書店) その他、プリント・映像等、必要に応じた教材各種						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 時代を超えて継承されてきた言語への共感を持ち、言語を介した日本文化を体感すること。 現代における言語・文化のルーツにふれることで、対照的に現代の言語・文化を振り返ること。 								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	我が国の伝統的な言語文化の特徴的な語句・表現に親しみ、適切に理解し、使用している。 古典・近現代の文学世界に親しむために、作品や歴史的・文化的背景を適切に理解している。		「書くこと」：体験や共感、思考が読み手に伝わるよう、【知識・技能】で学んだ内容を適切に用いて工夫している。 「読むこと」：時代や国の枠組みにとらわれず、作品や文章の内容を適切に理解・対照し、我が国の言語文化について、自分の考えを示している。			【知識・技能】【思考・判断・表現】を身につけようとする中で、年度を通して自己調整に取り組んでいる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査					①単元終了時の「研究課題」 ②振り返りシート等を用いた自己調整のモニタリング			
	平素の小テスト・課題・提出物等								
	到達度確認テスト								
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。								
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	「古典を学ぶ」 (大岡信『言葉の力』)	古文基礎・復習			3	中間 考査	研究 課題 ①	
	5	【古文】『土佐日記』	古代日本文学の基本・助動詞発展			3			
		【漢文】故事成語「守株」「推敲」「借虎威」	漢文訓読復習・再読文字・重要句法			4			
	中間考査					10			
	6	「古典と近代文学」 (「近代語の成立」) 芥川龍之介『羅生門』 『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀」他 ○研究課題①	言文一致、近代文学と古典文学とのリンク 近代文学・小説			1 5 4	期末 考査		
	7	期末考査					10		
8									
2	9	「韻文の比較(表現)」 到達度の振り返り 【古文】『伊勢物語』東下り 【漢文】漢詩	和歌修辞、助動詞発展 漢詩基礎の復習			2 5 3	中間 考査	研究 課題 ②	
	到達度確認テスト① 『伊勢物語』								
	中間考査					10			
	11	思想の比較 無常観の比較『方丈記』『平家物語』 儒学思想『論語』他 ○研究課題②	助動詞・助詞発展 句法発展			6 6	期末 考査		
	12	期末考査					12		
3	1	到達度の振り返り 他言語との比較読解 ティム・オブライエン『待ち伏せ』 古典作品との比較対照 ○研究課題③	「翻訳すること」について 共時的空間的ずれ／通時的時間的ずれの概念			2 4 3	学年 末考査	研究 課題 ③	
	到達度確認テスト② 『土佐日記』・『奥の細道』								
	学年末考査					9			
	3	※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。							
						52+7時間±α			

教科名	国語	科目名	言語文化	履修学年	中学・高校	1年	5~7	組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	言語文化(筑摩書房)						
担当者	山本 宏樹		古文単語315(桐原書店) ステップアップノート 30古典文法基礎ドリル(河合出版) 漢文必携(桐原書店) その他、プリント・映像等、必要に応じた教材各種						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 時代を超えて継承されてきた言語への共感を持ち、言語を介した日本文化を体感すること。 現代における言語・文化のルーツにふれることで、対照的に現代の言語・文化を振り返ること。 								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	我が国の伝統的な言語文化の特徴的な語句・表現に親しみ、適切に理解し、使用している。 古典・近現代の文学世界に親しむために、作品や歴史的・文化的背景を適切に理解している。		「書くこと」：体験や共感、思考が読み手に伝わるよう、【知識・技能】で学んだ内容を適切に用いて工夫している。 「読むこと」：時代や国の枠組みにとらわれず、作品や文章の内容を適切に理解・対照し、我が国の言語文化について、自分の考えを示している。			【知識・技能】【思考・判断・表現】を身につけようとする中で、年度を通して自己調整に取り組んでいる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査					①単元終了時の「研究課題」 ②振り返りシート等を用いた自己調整のモニタリング			
	平素の小テスト・課題・提出物等								
	到達度確認テスト								
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。								
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	「古典を学ぶ」 (大岡信『言葉の力』)	古文基礎・復習			4~5	中間 考査	研究 課題 ①	
	5	【古文】『土佐日記』 【漢文】故事成語「推敲」	古代日本文学の基本・助動詞発展 漢文訓読復習・再読文字・重要句法			3 3			
	中間考査					10			
	6	「古典と近代文学」 (「近代語の成立」) 芥川龍之介『羅生門』 『宇治拾遺物語』『絵仏師良秀』他 ○研究課題①	言文一致、近代文学と古典文学とのリンク 近代文学・小説			1 5 4	期末 考査		
	7	期末考査					10		
	8								
2	9	「韻文の比較(表現)」 到達度の振り返り 【古文】『伊勢物語』東下り 【漢文】漢詩 現代詩歌	到達度確認テスト① 『伊勢物語』 和歌修辞、助動詞発展 漢詩基礎			2 3 3 2	中間 考査	研究 課題 ②	
	中間考査					10			
	11	思想の比較 無常観の比較『方丈記』『平家物語』 儒学思想『論語』他 ○研究課題②	助動詞・助詞発展 句法基礎・発展			6 6	期末 考査		
	12	期末考査					12		
3	1	到達度の振り返り 他言語との比較読解 ティム・オブライエン『待ち伏せ』 古典作品との比較対照 ○研究課題③	到達度確認テスト② 『土佐日記』・『奥の細道』 「翻訳すること」について 共時的空間的ずれ／通時的時間的ずれの概念			2 4 3	学年 末考査	研究 課題 ③	
	学年末考査					9			
	3								
	※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。								
								52+7時間±α	